

抄読会

Burden & Value of Narcolepsy

博士課程 3 年 鎌田悠太/ Yuta Kamada

概要

ナルコレプシー当事者への公的支援に関する議論に役立つようなエビデンスを創出するべく本研究を進めてきた。その研究成果を国際学会で発表し、国際雑誌に掲載された¹⁾。しかしながら、論文として公表するだけでは本研究の目的は達成されない。当事者との直接のコミュニケーションを通じて研究の結果を共有し理解してもらうことによって、当事者にとって有益な研究となる。今回の発表では、本研究の結果に対する当事者からの反響も含めて発表し、今後の方向性について議論した。

Reference

1. Kamada, Y., Imanishi, A., Chiu, S.W., and Yamaguchi, T. Burden of narcolepsy in Japan: A health claims database study evaluating direct medical costs and comorbidities. *Sleep Med*, 2024; 114: 119-127. DOI: <https://doi.org/10.1016/j.sleep.2023.12.020>

以上